

# うえだ広域

上田地域広域連合広報紙 2002年3月



この1年を振り返って P2  
 上田地域広域連合議会2月定例会 P4  
 マイカルについて・消防について P6・7  
 介護保険について・上田創造館の紹介 P8・9  
 ごみが増えて困っています P10  
 合併について P12  
 上田地域ってこんなまち P16  
 第7回上田・小県映像祭 P18  
 さあ、イベントへ出かけよう!! P20

## 上田地域をマルチメディア産業の集積地に!

### ～人材育成の取り組み～

上田地域では、マルチメディア産業の集積地(メッカ)をめざして様々な人材育成事業を展開しています。



### Media Trigger' 01平成13年度新映像塾

一般の方を対象に21名参加のもと、上田市マルチメディア情報センタ - を中心に市町村観光PRビデオの企画・撮影・ノンリニア編集を通じて映像制作技術を習得しました。



参加した西内小学校、清水かおりさん(12)と斎藤琢くん(12)。「オープニングのテロップづくりが楽しかった。もう一度やってみたい。」と話してくれました。

### 子供向け事業

小学生のときから映像制作に興味を持ってもらうため、身近な話題を題材にした10分程度のCGを用いた映像作品の制作を行いました。13年度は浦里小学校(上田市)、西内小学校(丸子町)、長門小学校(長門町)3校の参加を得て実施しました。



# この1年を振り返って (平成13年度)

上田地域広域連合は、発足から4年が経過しました。平成13年度も、上田地域の効率的で質の高い行政サービスをめざし取り組みをすすめてきました。ここでは、平成13年度に上田地域広域連合で行った主なイベントや出来事などを紹介し、この1年間を振り返ってみました。



5月14日 上田ロータリークラブ様よりイチイなど43本の中低木を寄贈、植樹していただきました。

5月18日 東部町文化会館において、小西砂千夫さん(関西学院大学教授)を招き、「地方分権研修会」を開催しました。



5月30・31日 上田地域広域連合議会臨時会を開催しました。

6月2日 上田市文化センターにおいて、村田幸子さん(NHK解説委員)を招き、「介護保険シンポジウム」を開催しました。



6月20日 養護老人ホーム上田市報恩寮のみなさんに大星斎場庭園内の草取り、清掃を行いました。



7月14・15日 青木村において、「自然環境について考える、オカミサミット」が青木村と共催で開催されました。



8月25・26日 上田市・青木村を会場に「親子ふれあい教室」を開催しました。



9月9日 長門町の依田窪病院において、総勢500人が参加し、「依田窪南部地区総合防災訓練」が行われました。



# 上田地域 広域連合



9月22日・23日 東部町巨峰の王国まつりにあわせ東部町中央公園において「上小地域ふるさと自慢大集合」を開催しました。

9月25日（株）マイカルの自主再建断念を受けて、ふるさと市町村圏基金の欠損に関し、正副連合長会を開催しました。

10月1日 上田地域広域連合情報公開条例、個人情報保護条例が施行されました。

10月8日 上信越自動車道東部湯の丸サービスエリアにおいて「上田地域高速サービスエリア物産展」を開催しました。

10月24日～26日 上田地域広域連合議会10月定例会を開催しました。

10月28日 上田市市民の森において、「国際交流フェスティバル」を開催しました。

11月1日 長門町図書館がオープンしました。

11月12日 上田市海野町において、雑居ビル火災を想定した夜間訓練を実施しました。

11月14日 国際ロータリー第2600地区様より車を寄付していただきました。

11月23日～25日 東京の神宮外苑において「上小物産展」を開催し上田地域を広くPRしました。



12月15日 第1回リレー討論会「地域のごみ問題を考える」を上田市において開催しました。

12月25日 上田地域広域連合議会臨時会を開催しました。

2月9日 第2回リレー討論会「地域のごみ問題を考える」を東部町において開催しました。

2月27日～3月1日 上田地域広域連合議会2月定例会を開催しました。

3月16日 第3回リレー討論会「地域のごみ問題を考える」を丸子町において開催しました。

## 善意に対するお礼

上田地域広域連合では、平成13年度中、次の皆様から寄付やボランティアなど善意をいただきました。紙面をもちまして厚くお礼申し上げます。

徳寿荘

長野県労働金庫丸子支店様

21型テレビ……………2台

全自動洗濯機……………1台

ラジカセ……………1台

丸子町日赤奉仕団様

ホトトギスビュタオルを温める機械)……………1台

養護老人ホーム上田市報恩寮のみなさん

大星斎場の草取り、清掃

陽寿荘

日本禁煙協会友愛会 丸子支部様

大型バスタオル……………60枚

長野県労働金庫丸子支店様

湯沸器……………1台

清浄園

上田ロータリークラブ様

イチイ、シャクナゲなど苗木……………43本

事務局

国際ロータリー第2600地区様

軽自動車……………1台

# 広域連合議会2月定例会が開催されました

上田地域広域連合議会定例会は、2月27日に招集され、3月1日までの3日間の会期で開かれました。

今定例会は、広域連合の平成14年度当初予算(11件)をはじめ、合計30件の議案が提出され、人事案件を除き、所管の総務常任委員会及び保健福祉常任委員会にそれぞれ付託され、審議されました。

提出された議案は本会議において、全て原案どおり同

意または可決されました。

本議会において、同意または可決された主な議案に

ついてお知らせします。

また、議会全員協議会において、「統合ごみ処理施設建設予定地検討委員会」(委員15人)の設置が決まりました。今後、議会において、ごみ処理施設建設予定地について、総合的な研究及び検討を行います。

## 監査委員(識見者)の選任について

五十嵐和人監査委員(識見者)の任期満了(平成14年5月24日)に伴い、次期監査委員(識見者)に望月祐一監査委員(丸子町)の選任について同意されました。

## 公平委員会委員の選任について

3人の公平委員会委員のうち、内海利幸委員(真田町)の任期満了(平成14年5月24日)に伴い、再任で、内海利幸委員の選任について同意されました。

## 選挙管理委員会委員の改選について

平成14年5月24日をもって任期満了となる、現職選挙管理委員会委員(4人)及び同補充員が改選されました。

委員	補充員
原 敦胤(上田市)	清水 淑江(真田町)
竹内 實(上田市)	鉄矢 忍(上田市)
辰田 哲(長門町)	小山 孝(坂城町)
手塚 勲(東部町)	長谷川忠男(丸子町)

## 条例の改正及び廃止

改正及び廃止された条例の内容は次のとおりです。

### 条例の概要

職員定数条例の一部改正について  
組織の見直しに伴い、職員定数を減員する。  
職員の再任用に関する条例の一部改正について  
地方公務員等共済組合法の一部改正に伴う引用条文の変更  
上田地域広域連合ふるさと市町村圏基金条例の一部改正について  
他の基金条例の規定との均衡と、当該基金に属する現金の管理方法として、今後、確実かつ有利な方法による保管を徹底するための所要の改正  
伝染病舎基金条例廃止について  
伝染病予防法の廃止と感染症予防法の施行に伴い、その施設運営に関する事務が、県に移管されたことを受け、基金条例を廃止  
上田地域広域連合まちづくり研究基金条例の一部改正について  
平成14年4月からのペイオフ解禁を控え、基金の保護策として条例中に繰替運用を規定  
伝染病舎条例廃止について  
伝染病予防法の廃止と感染症予防法の施行に伴い、その施設運営に関する事務が、県に移管されたことを受け、伝染病舎基金条例とあわせての廃止ほか、所要の改正  
上田地域広域連合火災予防条例の一部改正について  
消防法及び危険物の規制に関する政令の一部改正に伴う、危険物の品目の追加及び指定可燃物の追加

## 平成13年度補正予算

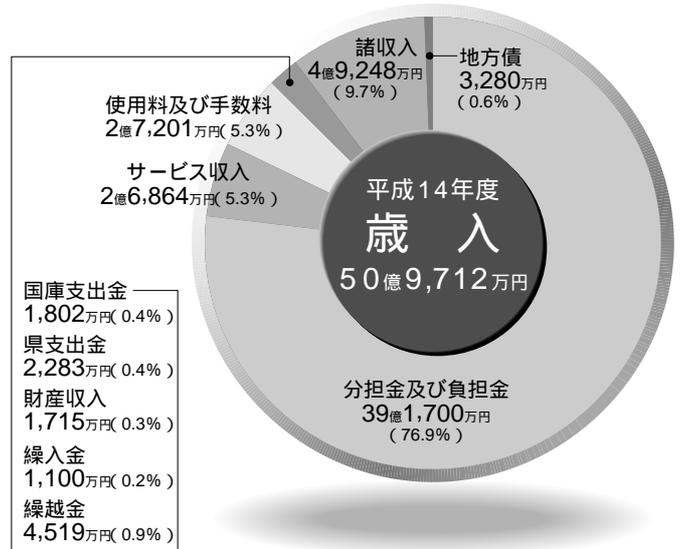
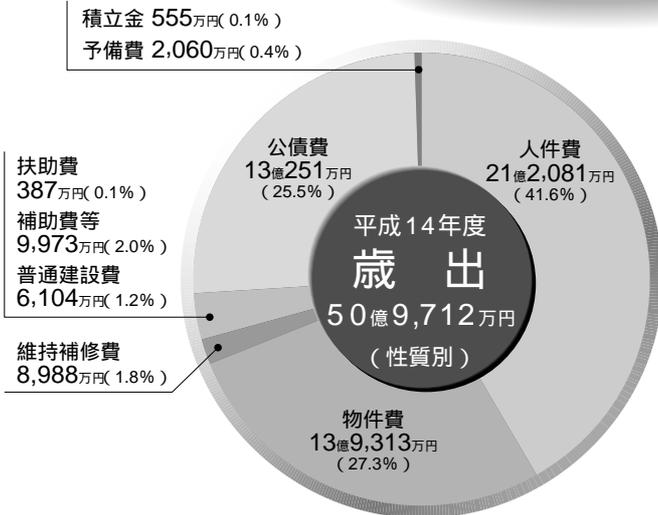
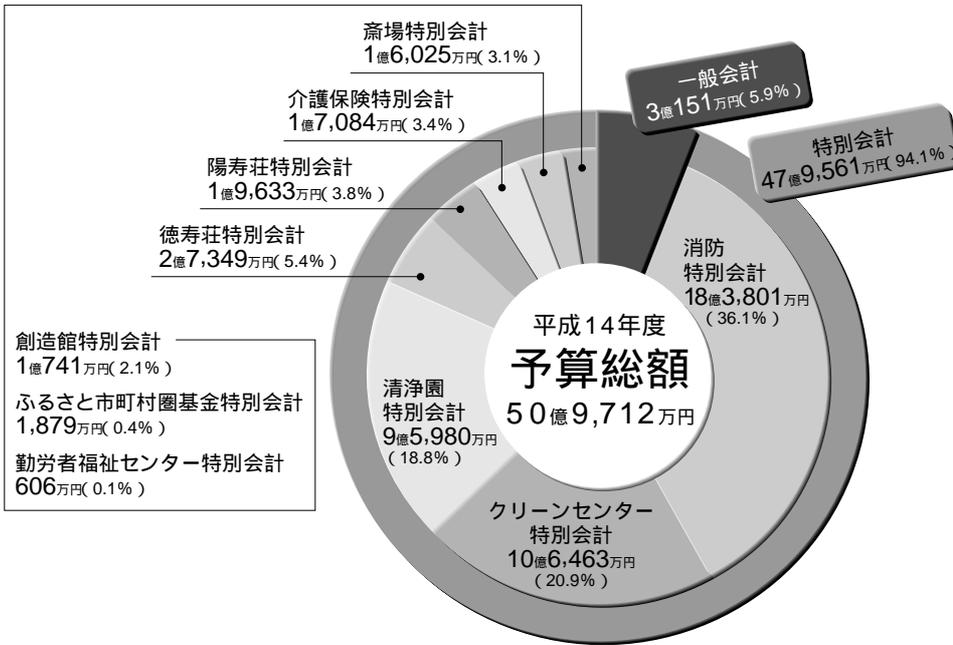
平成13年度2月補正予算が可決されました。主な内容として、一般会計において、伝染病舎基金(2億円)を取り崩し、関係市町村へ交付するため大幅な補正増がありました。

平成13年度 上田地域広域連合2月補正予算一覧表

(単位：千円)

会計別	区分	平成13年度			平成12年度	A/B %
		現計予算額	補正予算額	計(A)	最終予算額(B)	
特別会計	一般会計	234,545	198,728	433,273	229,418	188.9
	ふるさと市町村圏基金特別会計	24,957		24,957	21,352	116.9
	消防特別会計	1,780,234	15,213	1,765,021	1,828,056	96.6
	勤労者福祉センター特別会計	18,790	1,357	20,147	20,503	98.3
	創造館特別会計	114,955	0	114,955	113,275	101.5
	介護保険特別会計	183,238	14,034	169,204	178,306	94.9
	陽寿荘特別会計	187,924	4,646	192,570	198,822	96.9
	徳寿荘特別会計	283,599	26,389	309,988	283,474	109.4
	清浄園特別会計	939,356	2,627	936,729	848,856	110.4
	クリーンセンター特別会計	1,362,682	183	1,362,499	1,522,789	89.5
	斎場特別会計	160,675	3,818	156,857	147,723	106.2
	小計	5,056,410	3,483	5,052,927	5,163,156	97.9
	合計	5,290,955	195,245	5,486,200	5,392,574	101.7

平成14年度予算が可決されました。一般会計及び10の特別会計をあわせた予算総額は、50億9,711万7千円で、前年度当初予算と比較して、3・0%、1億5,617万7千円の減額となりました。減額の理由としては、平成12年度及び13年度にわたって行われた、丸子クリーンセンター及び東部クリーンセンターのダイオキシン類排出削減対策工事が終了したことが上げられます。



主な事業

特別会計

一般会計

主な内容は下記のとおりです。

シンクタンク事業  
ごみ処理広域化推進事業

ふるさと市町村圏基金  
地域活性化事業  
観光サービス事業

消防  
上田中央署高規格救急自動車更新  
丸子消防署消防ポンプ自動車更新  
救急救命士の養成

勤労者福祉センター  
施設管理委託

創造館  
喫煙室の設置

介護保険  
介護相談員派遣事業  
介護保険講演会の開催

陽寿荘  
給食調理業務及び寮母業務の委託

徳寿荘  
介護業務の委託

清浄園  
焼却設備、脱臭設備等のオーバーホール  
焼却炉関連ダイオキシン類測定調査業務

クリーンセンター  
ダイオキシン類測定調査業務

各種プラント設備オーバーホール  
(上田・丸子・東部)

斎場  
霊柩車更新(大星)  
(上田・丸子・東部)



# ふるさと市町村圏基金に係る 株マイカル社債購入問題について

ふるさと市町村圏基金の社債購入問題(2億円)につきましては、地域住民の皆様に変なご心配をおかけしており、深くお詫びを申し上げます。

今期号は、この問題に対する現在の取り組み状況とマイカルグループの管財業務の概要をお知らせします。

## 現在の取り組み状況

マイカル社が破綻に至った事実を踏まえ、公表されている財務諸表(決算書、目録見書等)について、専門の公認会計士に分析・評価を依頼し、この鑑定報告を受けました。

これに基づき、社債を販売した野村證券の企業責任や社債購入の適否について、検証を深めています。

また、鑑定報告に示された改善事項については、十分に留意し、再発防止に努めていきます。

報告書の具体的な分析数値等は、紙面の関係で割愛しますが、まとめの要旨は次のとおりです。

詳しくは、広域連合のホームページをご覧ください。

【<http://www.ara.ueda.nagano.jp/>】

## マイカル社債に関して (鑑定報告書から抜粋)

マイカルの倒産リスクが顕著になった時期は、平成12年2月期(平成11年3月から平成12年2月まで：特に下期)と考えられます。

広域連合が、マイカル債を購入した時期は、平成12年1月ということでありますので、この段階では、マイカルの平成12年2月期の決算数値はデイスクローズ(企業情報公開)されておられません。

従って、デイスクローズされた後の購入でししたら、分析上、当購入に疑問符が寄せられたと思われます。

では、平成12年1月購入時に、もし財務分析したと仮定しますと、次のようになります。

平成10年2月期から平成11年2月期にかけての財務データについて  
総資本事業利益率(資本利益率)  
2.6%から2.3%にやや落ちてい

流動比率、当座比率、長期固定適合率  
それぞれ改善されている。

固定比率、自己資本比率  
固定化比率は、197.8%から214%に悪化している。

自己資本比率は、36.7%から35.6%にやや落ちてい

保証債務等は582億8,800万円に、関係会社への投資は443億500万円にそれぞれ増加し、連結損益は、457億4,500万円に減少しており、関係会社の業績に黄信号が点きはじめていると思われる。

## 営業収支及び事業収支戻

営業収支は、プラスであるが362億2,200万円の減少、事業収支戻は、1,081億9,400万円の減少で、資金繰りが大幅に悪化している状況です。

支援策が全くない場合を仮定すれば、危険水域に迫りつつある状態といえます。

このような状況でマイカルが倒産するか否かは、金融機関の支援体制、経営環境の変化など多くの変動要因が混在し、極めて高度な判断を要するものと考えられます。

広域連合が購入に当たり判断基準とした格付け 有力企業の支援 経営改善計画の実効性 社債管理会社及び引受証券会社の信用力などに依存したことは、すべて否定できない面もあったと思われる。

事実、平成12年2月期決算発表後においても、多くの人(財務分析の人材を有すると思われる上場企業や一般個人)が購入し、結果として損失を被り、社会問題になっている現状をみると、その感が強いと言えます。

今回の案件は、広域連合に限らず、複数の自治体や外郭団体などで生じている事態です。今後は、運用方針(基準)の

遵守、決裁(稟議)手続きの整備、リスク管理委員会(仮称)の設置等、リスク管理の充実を図り、再発防止に努め、広域連合の健全な発展に寄与すべきと考えます。

## マイカルグループの 管財業務の概要

更生会社 株式会社マイカルほか9社の公表資料によりますと、平成13年12月31日、会社更生手続開始決定を受け、本年2月28日に第1回関係人集会が行われております。

マイカルの未償還社債の残高は、総合計で3,518億5,500万円となっております。このうち、普通社債は、3,200億円であり、その内訳は、機関投資家向けの社債2,300億円、個人投資家向けの公募債900億円となっております。

公募債は、多数の個人投資家が購入していることを十分に認識し、今後の会社更生手続き及び更生計画案の策定をすすめたたいとしております。

また、経営破綻の法的責任の有無については、現在調査をすすめているとのことです。会社再建に向け、資産の流動化もすすめています。会社更生計画案の提出期限は、平成14年12月31日としております。

このように、会社更生の手続きは長期化する見込みでありますが、事態の推移につきまして、今後も広報等でお知らせし、この問題に対処してまいりますので、よろしくお願いたします。

# 山火事が多い季節です



私たちの住むこの地域は、豊かな緑の山々に囲まれたすばらしい環境にあります。しかし、この美しい自然もひとたび火災になれば、その失われた自然をとりもどすには、長い年月を必要とします。

これからの季節は空気が乾燥し、山火事が発生しやすい時期となります。

昭和62年4月21日、上田市の太郎山と神畑山でほぼ同時に大火災となりました。当日は風が強く吹き、空気も非常に乾燥しており、火災警報が発令されていました。鎮圧まで34時間という長い時間が費やされ、損害額は3億円余りにのぼりました。

このような山林火災を二度と発生させないために、野山へ出かけられる方は、たばこの投げ捨ては絶対に止めましょう。また、たき火をしていて強風にあおられ、近くの枯れ草などに燃え移るといった火事が毎年多く発生しています。空気が乾燥しているときのたき火はみあわせましょう。私たちが住むこの美しい自然を火災から守るために。

# 救急車がくるまでに

## ～普通救命講習会のお知らせ～

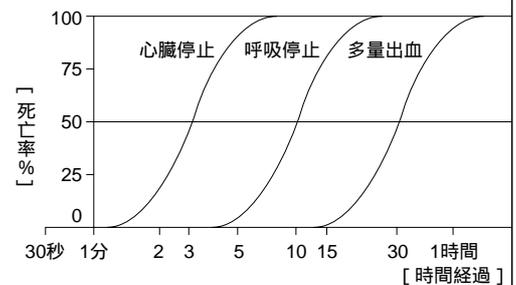
私たちは、いつ、どこで、突然のけがや病気におそわれるか予測できません。家庭や職場で家族や友人が、けがや病気により突然倒れてしまったときや、大出血により生命の危機に陥ったとき、あなたは救命手当ができますか。

このような状態になったとき、救急車がくるまでに何らかの処置をしないと命は助かりません。



### カーラーの救命曲線

心臓または呼吸が止まってから何分ぐらい経つと命が助からないかが示されている曲線



心臓停止後約3分で50%死亡  
呼吸停止後約10分で50%死亡  
多量出血後約30分で50%死亡

## 救命手当には 心肺蘇生法と止血法があります

### 心肺蘇生法

けがや病気により突然に意識障害、呼吸停止、心停止の状態になったとき、心臓マッサージ・人工呼吸の処置により生命をよみがえらせる応急手当をいいます。



### 止血法

一般に体内の血液の20%が急速に失われると、出血性ショックという重い状態になり、30%を失えば生命に危機を及ぼすといわれています。したがって、出血量が多いほど、止血手当を迅速に行う必要があります。

上田広域連合の各消防署では、突然の事故や病気に対応するため、心肺蘇生法や止血法などについての基礎実技を行う「普通救命講習」を実施しています。この講習会は、3時間程度の講習を受講していただき、修了証をお渡しします。費用は無料ですので、この機会にぜひ受講してみたいかがでしょうか。

詳しくは消防本部または各消防署へお問い合わせください。

消防本部 TEL 26-0119

上田中央消防署 TEL 26-0019

上田南部消防署 TEL 38-0119

上田東北消防署 TEL 36-0119

川西消防署 TEL 31-0119

丸子消防署 TEL 42-0119

東部消防署 TEL 62-0119

真田消防署 TEL 72-0119

依田窪南部消防署 TEL 68-0119

ご存知  
ですか？

# 介護保険制度

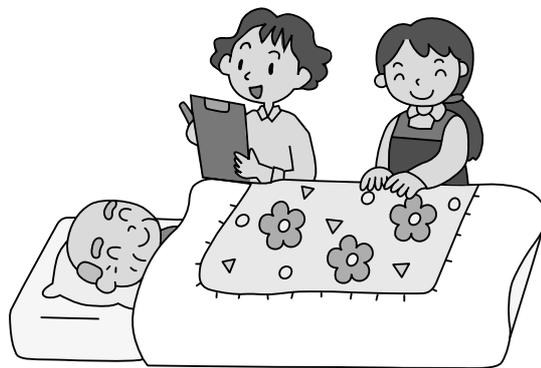
～上田地域広域連合の役割～

介護保険制度がスタートして、まもなく2年になります。介護保険は40歳以上の方が加入者となって保険料を出し合い、介護が必要になったときに市町村へ申請し、認定を受けて介護サービスを利用する制度です。

上小地域では、公平で公正な審査を行うために、認定をするのに必要な「認定調査」と「介護認定審査」を上田地域広域連合で共同で行っています。

## 認定調査とは？

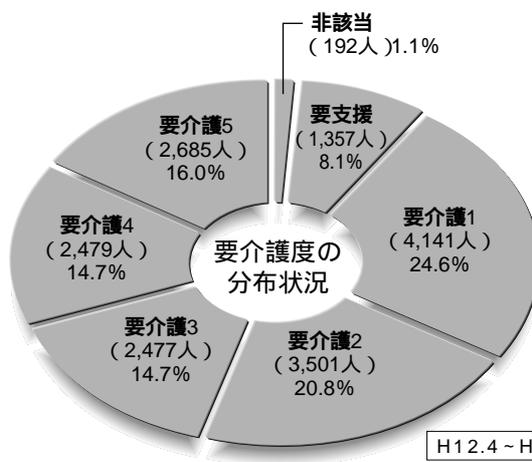
初めて介護保険の申請をした場合は、原則として上田地域広域連合の調査員が認定調査を実施します。調査員が自宅や病院等を訪問し、心身の状況などについて全国共通の85の調査項目にしたがって、申請者や家族等から聞き取り調査します。



## 介護認定審査とは？

訪問調査の結果と主治医の意見書(広域連合から主治医へ作成を依頼し取り寄せます)をもとに、医療、保健、福祉の専門家5人で構成される「介護認定審査会」で審査し、「要介護度」を決定します。要介護度とは、申請者がどの程度の介護が必要な状態なのか、介護の手間のかかり具合をあらわすもので、6段階に区分されます。

介護保険がスタートしてから現在までの間(平成12年4月1日から平成14年2月28日)に、上小地域では17,604件(延べ数)の介護申請があり、そのうち16,832件(延べ数)の審査が済んでいます。要介護度の分布状況はグラフのとおりです。



H12.4～H14.2



## 介護相談員派遣事業 がはじまります

上田地域広域連合では、平成14年度から介護相談員派遣事業に取り組んでいくことになりました。この事業は、広域連合から委嘱を受け登録された介護相談員が、定期的の上小地域の特別養護老人ホームなどを訪問し、入所されているみなさんが日頃言いたくてもなかなか言えない疑問や不安、不満に感じていることなどをお聞きして、相談員が橋渡し役として直接施設へ伝えていくことにより、安心してサービスを利用していただくことを目的としています。

# 上田創造館へ 行こう!

～上田地域広域連合施設紹介～

## 文化ホール

電動移動席を備えた500席の多目的ホールです。

各種の文化活動に利用できます。講演会、研修会、発表会、美術芸術作品の展示会、音楽、映画の鑑賞会等広く利用できます。



## 体育館

健康づくり、バレーボール、バドミントン、卓球等室内球技ができます。

## 会議室・研修室

和室6室 洋室5室など大小様々な部屋を備えており各種研修、会議、勉強会に幅広く利用できます。

## 美術館

大きな壁面とガラスケースを備えた展示室です。絵画、彫塑等の美術、芸術展に利用できます。

## パソコン教室

情報化が一段とすすむ中、現代社会に即応した機器27台を設置しています。各種パソコン教室も実施しています。



上田創造館は、上田地域広域連合が所有しており、上田市地域振興事業団へ運営管理を委託している施設です。上小地域住民の文化創造、コミュニケーション等の活動の施設として昭和61年4月に建設され、文化ホール、体育館、民俗資料館、プラネタリウム、パソコン室、会議室、研修室等多くの施設があり、住民の幅広いニーズに応えられ、ニューメディアに触れることができる複合施設です。

上田創造館の施設についてご紹介します。

## 民俗資料館

大正から昭和初期の上小地域の生活と民俗に関する資料(作品)が展示してあります。

農家、町家、鍛冶屋や子どものおもちゃ等当時の庶民の暮らしなどを学ぶことができます。

## プラネタリウム

直径12mのドームに120の座席を備えてあります。この大きなドームに四季折々の星空を投影し夢とロマンの星の世界へご招待します。

投影は、土曜日午後2回(午後1時30分、3時)、日曜日午前1回、午後2回(午前11時、午後1時30分、3時)です。料金は、小中学生110円、学生210円、大人260円となっています。

## 天体観測室

直径4.5mのドームに口径20cmの屈折式赤道儀(望遠鏡)が据え付けてあります。

さらに8cmの移動望遠鏡と8倍の50mmの双眼鏡各10台ずつ備えてあります。無限の大宇宙に浮かぶ太陽・月・星等の観測ができます。

## 科学実験室

教卓1、生徒用実験机6(8人用)各机にはガス、水道、コンセントを設置し、顕微鏡など充実した豊富な機器を整備してあります。

小・中学校の理科学習(創造館学習として)に利用されています。

## 創造館図書室

現在、18,500冊の蔵書があり、図書館のネットワーク化により住民への図書館サービスが図られています。

また、児童・生徒を対象とした科学図書を中心に4,000冊収蔵してあります。貸出しはせず、図書室で閲覧するようになっています。

## 学習室

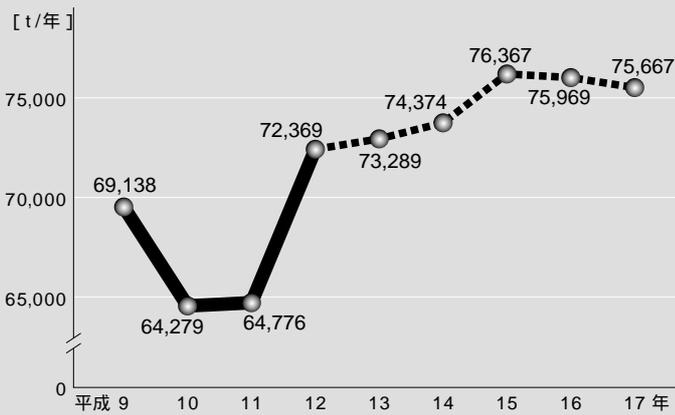
主に児童 生徒の学習の場としてどなたでも自由に利用できます。

# ごみが増えて困っています

## ごみ減量化への取り組み

上田地域広域連合では、平成11年3月に策定した「ごみ処理広域化計画」をもとに取り組みをすすめています。平成13年度には、ごみの減量化をすすめるため、新たに「ごみ減量化目標」を策定しました。今回、ごみ減量化目標を含め、現在具体的に取り組んでいることについてお知らせします。今後は、地域住民の皆様とともにごみの減量・資源化に重点を置き、目標達成に向けた取り組みをすすめていきます。

ごみの排出量の推移（平成13年度以降は予測数値）



ごみの有料化等により減少傾向であったごみ量が平成11年度増加に転じ、その後12年度は、11.7%増え、13年度以降も増加傾向が続いています。

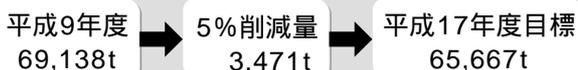
上田地域広域連合

# ごみ減量大作戦



## 減量化目標

平成17年度を目標年度とし、平成9年度実績対比で5%のごみ削減をめざします。



### それぞれの役割

- 消費者** ごみを出さないライフスタイルへの転換を図り、徹底したごみの分別、資源回収への協力
- 事業者** リサイクル製品の開発、製造、販売や製品の再使用(リユース)再資源化(リサイクル)の徹底
- 行政** 消費者や事業者への情報提供や支援、環境整備

# 循環型社会の構築に向けて

広域連合では、現在のごみ処理の状況や今後の計画を説明し、ごみの減量化・資源化を推進し循環型社会構築に向けた取り組みとして、講演会及び討論会を実施しました。



容器包装の使用を極力減らす生活を説明する松田先生。

- 12月15日 上田市 / 生活環境評論家.....松田美夜子先生
- 2月 9日 東部町 / 生活環境評論家.....松田美夜子先生
- 3月16日 丸子町 / 日本テレビ報道局ディレクター ..... 荻原 弘子先生

松田先生は、分別をせずに全てのごみをまとめて処理した結果、ごみ量が増えてしまって苦慮した地域を取り上げ、資源回収をすることにより処分経費が軽減できた事例や、ごみの広域処理の必要性について分かりやすくお話しされました。

また荻原先生は、経験豊富な取材体験の中から「ごみから日本が見えてきた」と題し講演されました。

## 施設整備検討委員会の設置

ごみの減量・資源化を最大限に推進しながら、どうしても最終的に残るごみについては適正に処理をしなければなりません。広域連合では、将来を見据えた次期ごみ処理施設の整備にあたり、施設規模や処理方法の選定に専門知識のある学識経験者や広く住民の意見を反映させるため公募委員による「施設整備検討委員会」の設置を予定しています。

住民代表の委員については、各市町村1人ずつをめやすに、各市町村の広報紙を通じて一般公募をする予定です。

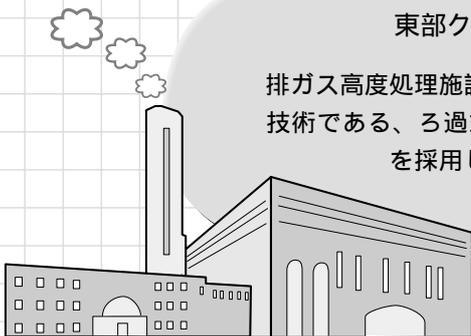
## ごみ処理施設の対策

平成12・13年度事業で丸子クリーンセンター・東部クリーンセンター-それぞれの施設について、次のとおり整備事業を行いました。

- 丸子クリーンセンター / 排ガス高度処理及び灰固形化施設整備事業の実施
- 東部クリーンセンター / 灰固形化施設整備事業の実施

排ガス高度処理施設整備では最新の排ガス処理技術である、ろ過式集じん機(バグフィルター)を採用してダイオキシン等の大幅な排出抑制を図りました。

灰固形化施設整備事業では、焼却灰と分離した飛灰をキレート処理(薬剤と均質に練り混ぜ、重金属が溶出しないよう化学処理)をします。



### ダイオキシン類測定結果のお知らせ

平成13年9月及び10月に測定しましたダイオキシン類の測定結果

測定場所	測定値		排出基準
	1号炉	2号炉	
上 田	0.025ng	0.110ng	1ナノグラム以下
丸 子	0.017ng	工事中 (3月中に測定)	5ナノグラム以下
東 部	1.800ng	0.830ng	10ナノグラム以下

排出基準は平成14年12月1日以降の基準値です。(1ナノグラム=10億分の1グラム)

## 焼却手数料の見直し

現在の焼却手数料は処理原価に比較して低く設定されており、受益者負担の原則からみて公平さを欠いています。また、ごみの資源化・減量化を推進するため、焼却手数料の見直しを検討しています。

現在の焼却手数料

- 家庭系一般廃棄物(キロ当たり5円)
- 事業系一般廃棄物(キロ当たり10円)

注)平成12年度の処理原価はキロ当たり18.7円

# 市町村



# 合併

新聞では、毎日のように市町村合併ついでの記事を目にするようになりました。それほど現在、急速に合併論議がすすんでいます。このような中、上田地域も例外ではなく、仲間との会話の中にも話題にのぼるようになってきていることだと思えます。

熱気おびてきた合併論議の背景には、財政面で優遇措置のある合併特例法が平成17年3月で終わってしまうことも、ひとつの大きな要因となっています。合併までには各市町村間の諸条件のすり合わせや、市町村建設計画の作成など通常2年程度かかるといわれています。合併特例法の期限を考えたとき、今年中の合併協議会設置などが必要となってきます。このような情勢の中、上田地域広域連合では平成13年5月に「地方分権研究会合併問題部会」を立ち上げて、各市町村への情報提供を中心に研究をすすめてきました。この広報紙では、上田地域の市町村データを中心にみなさんにお知らせをします。普段みる機会の少ない他の市町村データなどをみていただき、合併の是非の判断材料のひとつにしていただければと思います。

## 迫られる 市町村の決断!! 大いなる、住民の議論!!

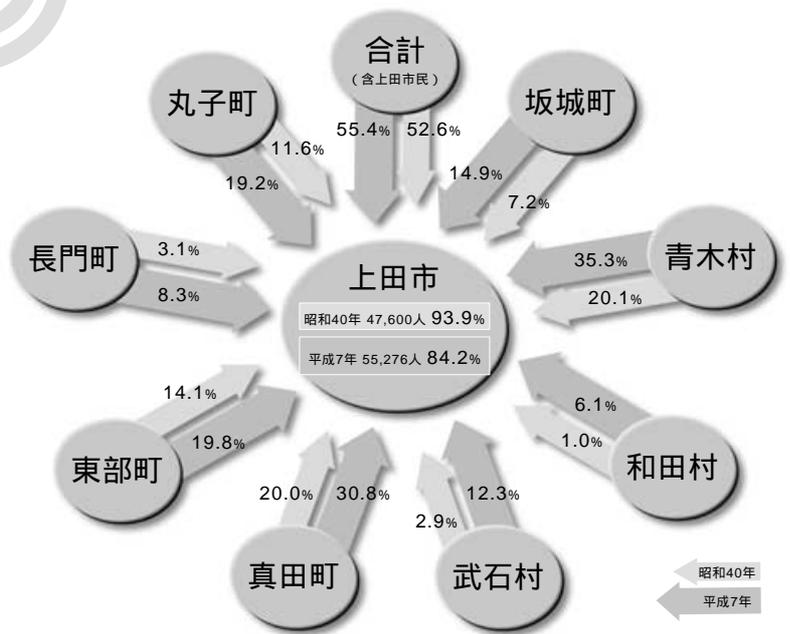
### 生活圏、経済圏の状況は？

上田市を中心とする通勤圏

昭和の大合併から40年経ち、車、携帯電話などの発達により人々の行動範囲は広がっています。通勤圏、通学圏、商圈、通院圏などの統計がありますが、今回は、圏域内で最も多くの人(H7調査勤務者数:118,254人)が多くの時間を費やす通勤圏に絞ってデータを見ることにしました。

特に昭和40年以来、上田市へ通勤している人の数値ですが、上田市の住民を除いては、いずれも伸びています。

他町村から上田市へ通勤している人は、通過する市町村(の税金)で造った道路や橋といった公共施設を使っており、要望もできないのが現実です。このことは、負担と受益が一致していないことを意味しています。住民によるサービスの選択と負担の明確化を図ることが住民生活のうえでも必要であります。



# 少子高齢化で地域を支える人材が……？

少子高齢化にますます拍車がかかるといわれていますが、このまま推移すると町村内には介護できる者さえいなくなります。市町村合併によって区域を広くし、広く薄く負担する仕組みが必要だといわれています。

このグラフは2000年については、国勢調査を使用し、2030年については、国立社会保障人口問題研究所の小地域簡易将来人口推計により試算しました。また、合計特殊出生率については、現時点のもので仮定しました。

2000年   
2030年 



# 小規模市町村では住民1人当たりの行政経費が高いとも……？

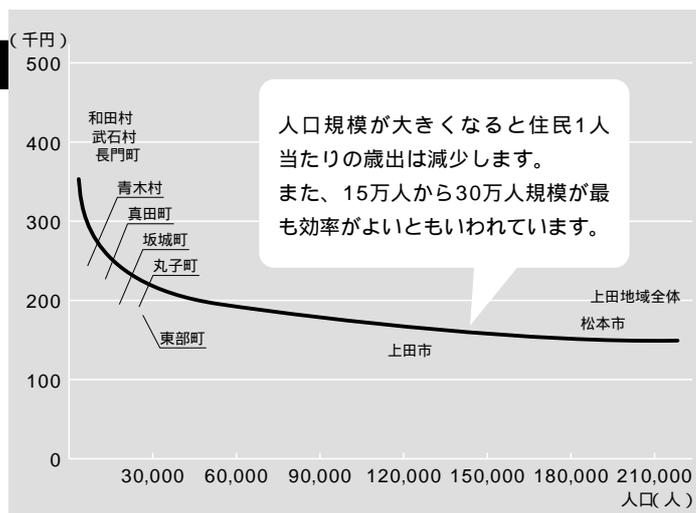
専門家の調査によると人口3,500人規模の町村では、住民1人当たり決算額は130万円、1万人規模の町村では55万円、3万人規模の市町村では33万円と、人口が多くなると住民1人当たりの経費は少なくなり、行政効率がよくなるといわれています。人口15～30万人が最適といわれています。

また、仮に広域連合構成市町村で合併し、市町村長、助役、収入役、議会議員、農業委員等がひとつのまとめりとなれば、年間約8億円の財源が他のサービスや事業にまわすことができるとの試算もあります。

## 住民1人当たり消費的行政経費

消費的行政経費とは……

人件費(議員、職員等の給料、旅費など)、物件費(物品購入費、印刷費など)、維持補修費(建物等の維持管理費など)、扶助費・補助費等(生活保護法等に基づく支出など)



# 交付税が減って 現在のままでは 市町村運営が……？

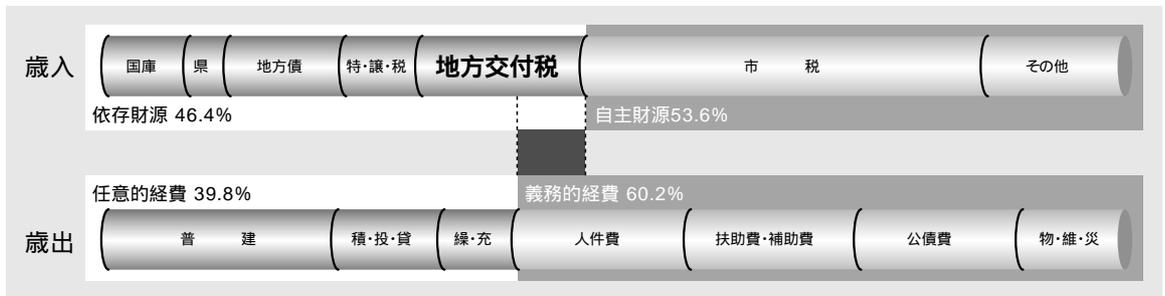
地方交付税に頼っている町村が多い中、国は、地方分権、行政改革、構造改革において地方交付税の抜本改革を図っていくといわれています。学者の中には、現在の交付税額の半以下になってしまうといっている人もいます。

ただし、17年3月までに合併すると特例法により10年間は現在の地方交付税が確保され、さらにその後5年間で通常の算定になります。

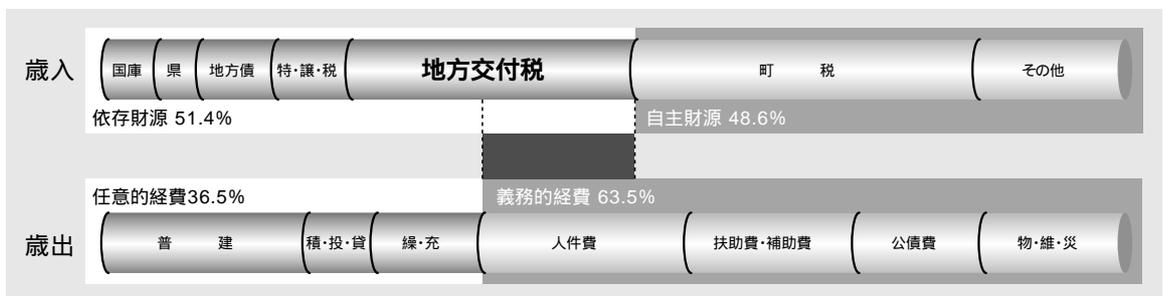
広域連合構成市町村の12年度決算データから収入の状況、支出の状況を見てみると、いかに地方交付税のウエイトが高いかわかります。義務的な経費は、広い意味では人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費等、公債費の6費目であるといわれておりますが、厳密な意味からは、人件費、扶助費、公債費の3つが義務的経費です。交付税が減らされれば、建設工事などの地域づくり事業を減らすことは避けられません。

- 【歳入】 国庫………国庫支出金  
県………県支出金  
特・譲・税…地方特別交付金・地方譲与税・税交付金  
その他………分担金・負担金・使用料・手数料・その他
- 【歳出】 普建………普通建設事業費  
積・投・貸…積立・投資・貸付金  
繰・充………繰出・前年度充用金  
物・維・災…物件費・維持補修費・災害復旧費

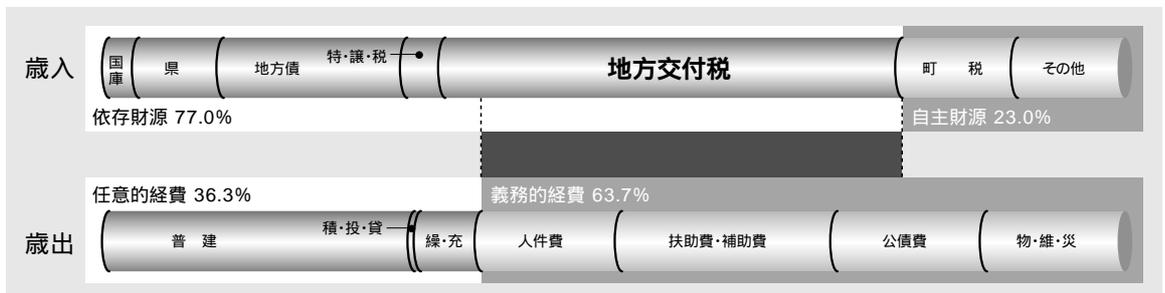
## 上田市



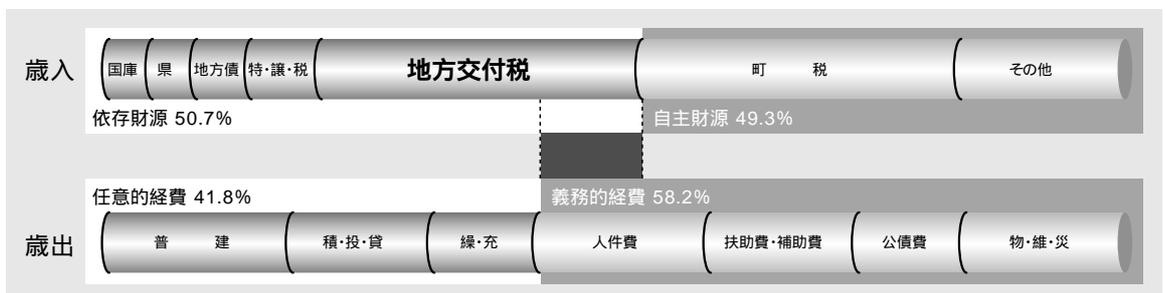
## 丸子町



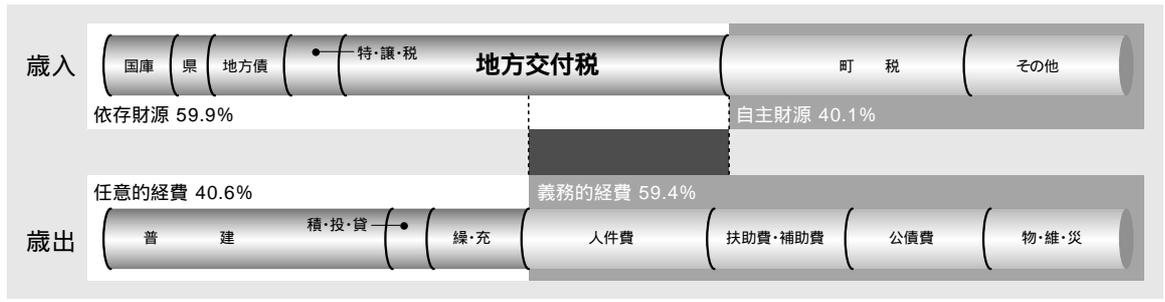
## 長門町



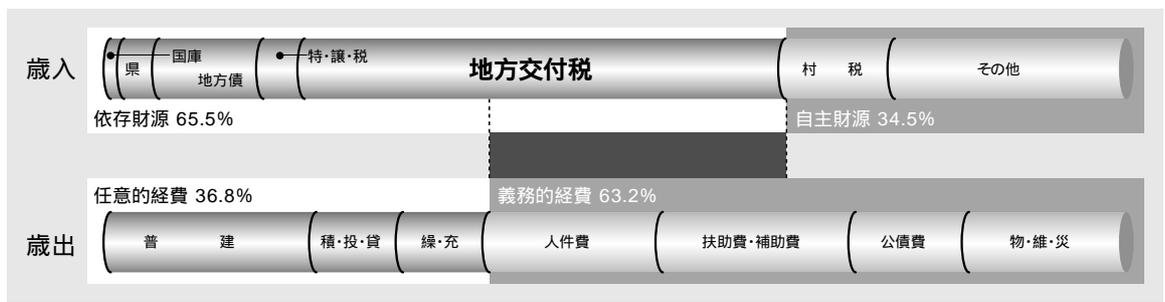
## 東部町



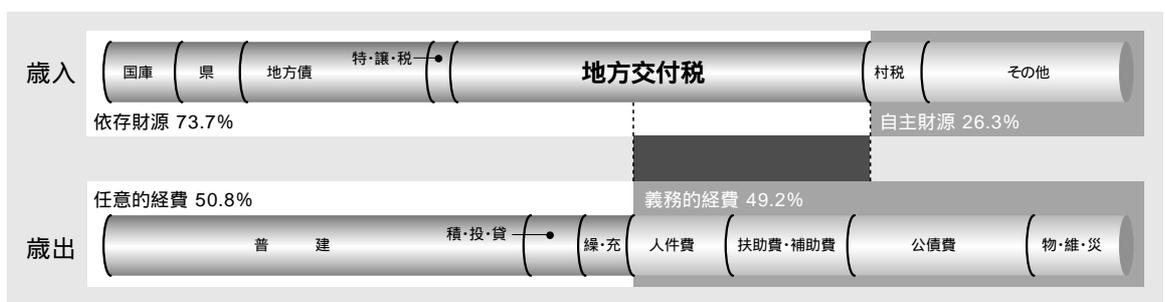
真田町



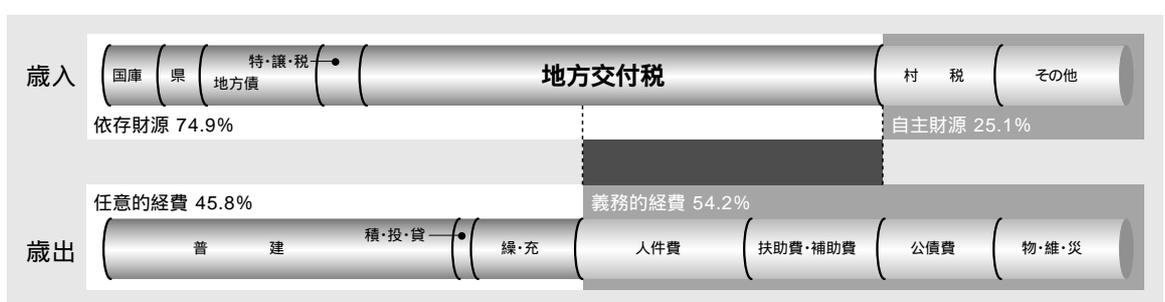
武石村



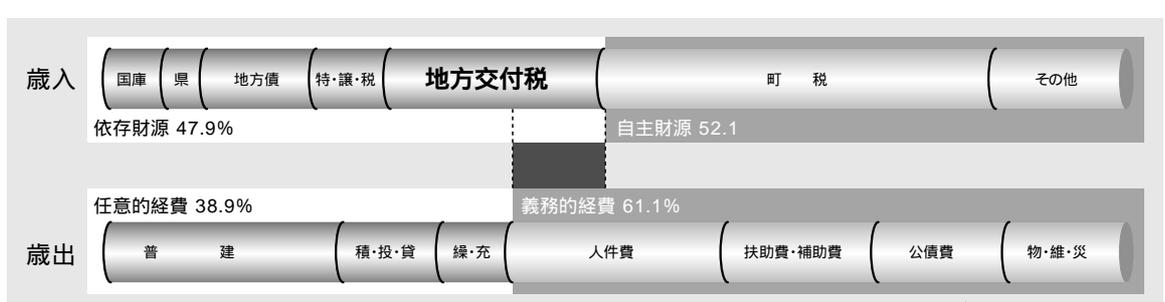
和田村



青木村

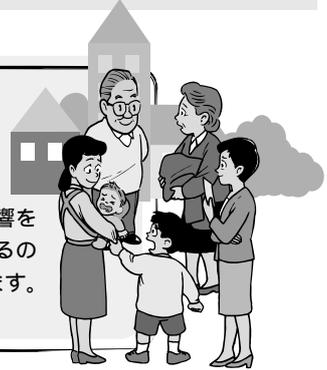


坂城町



考え、語り合いましょう！「市町村合併」

今回の資料は、合併問題部会からの報告書に基づいて最近の状況から作成されています。当部会の報告によれば、「市町村合併は避けて通れないから、避けられない。必要だ。」とまとめられています。巻末には、「いずれにしても、合併は地域の将来や住民の生活にも大きな影響を及ぼすものであり、各市町村長、議会、住民の中で十分な論議を深め、単に政治や行政のみですすめるのではなく、住民のみなさんと一緒に考え、幅広い論議を行うことが大切であります。」と結ばれています。みなさんの中で大いに議論し、住みよいまちづくりをしようではありませんか！



# 上田地域ってこんなまち

## 「歴史と文化から見た上田地域」

「東山道」「中山道」「北国街道」など数多くの道が通っていたこの地域は、歴史的文化遺産の宝庫であり、先人達が築き上げてきたすばらしいところがたくさんあります。昔通っていた道が、人を運び、物を運び、この地域の文化をそして歴史をつくつてきました。普段何気なくみている場所でも、その意味を知ることにより、また違った視点でみえてくることでしょう。今回、広報紙では、この地域にあった歴史上の道を紹介しながら、それらの道に関わりのある名所を紹介し、歴史と文化から見た上田地域の魅力をお伝えします。



### ① 真田氏館跡 (真田町)

天正11年(1583)真田昌幸が、上田城を築城し移転するまで真田氏の居館があったとされる場所で、御屋敷跡とも呼ばれています。中世士豪の城館跡として極めて貴重な史跡です。四面に土塁をめぐらし、その内部は昌幸が勤請(神仏の霊を移して祭ること)したと伝えられる皇大神宮がまつられています。この館跡は、十重二十重に周囲を固めていて、極めて堅固な要害(地の利があって敵の侵入を防ぎ守るに便宜なところ)で城館跡として最も地の利を得た場所です。



### ③ 丸子鉄道 (丸子町)

製糸業の原料や製品の輸送のため、大正7年11月、丸子 - 大屋間(6.5km)の丸子鉄道が開通しました。1年以上の月日を要した千曲川にかかる大屋橋鉄橋などの難工事の末、人々の大きな願いが結ばれました。開業時は、蒸気機関車による運転でしたが、大正13年に電化され、1日22往復運転されていました。その後、上田まで路線延長されました。将来の夢として、丸子から諏訪地方、丸子から松本地方への延長計画がなされたようです。昭和30年代になると、次第に自動車が増え始め、昭和44年に廃止となりましたが、今でも通称「線路道」「軌道敷」と呼び、道路として親しまれています。



### ④ 北国街道柳町 (上田市)

城下町の時代を思わせる北国街道沿いの街並み。江戸時代の中頃、柳の木がたくさんあったことから名付けられました。当時のままの面影を残す街並みは、柳の並木の間に茶店がたくさんあり、商家旅館も建ち並び、格子の窓・白壁の土蔵やうだつのある屋根、そして造り酒屋など、北国街道沿いの伝統の古い文化を残しています。

### ② 上州街道 (真田町)

上田から真田、菅平高原を登り大笹街道と合流し、上州の大笹へ通じていた道です。かつて真田昌幸が上田・真田～上州を往来し、戦略上この上州街道がよく使われました。真田町は、この他、地藏峠道・保科道・大笹街道など多くの街道が通っていました。



### ⑤ 北国街道海野宿 (東部町)

寛永年間に北国街道の宿駅として開設されました。延長約六町(650m)の宿場は、東西に枳形が置かれ、街道のまんなかには用水を引き北屋敷・南屋敷の両側に家並みが続いています。江戸時代の旅籠屋造りと、明治時代の垂室造りの丈夫な建物が今なお残っている海野宿は、昭和61年に「日本の道百選」に選ばれ、古き良き時代を今に残すものとして「重要伝統的建造物群保存地区」の指定を受けました。





最優秀賞

# 小川 稔

(上田市下塩尻)

『朝景』 撮影場所 / 上田市上塩尻堤防上より千曲公園

この映像祭は、3回連続入賞させてもらっています。今年(平成13年)の1月の朝に撮った写真です。上田市の景観30選にも選ばれた景色(夏の景観)であり、この景色の自分のポイントを持っていて、この景色は、雪が降ったら行こうと決めていました。ちょうど30cmの大雪が降った朝に撮りに行き、雪が積もって丸みおびた岩鼻と、晴天の青空と朝霧が立ちこめていてこれはいけると思いました。

優秀賞



『千駄焚きの炎』 土屋 公男 (上田市下室賀) 撮影場所 / 上田市越戸

第7回

# 上田・小県 映像祭

上田・小県地域の「四季の風景」「文化財」「祭り」「伝承芸能」をテーマとした上田・小県映像祭が行われました。

この上田・小県映像祭は、2年に一度開催しており、第7回目を迎えた今年から写真の部のみの開催となりました。写真に興味のある方々から120点の応募があり、厳正なる審査の結果、最優秀賞には、上田市下塩尻在住の小川稔さんの作品が選ばれました。最優秀賞をはじめとして入賞されたみなさんの作品を本紙において紹介します。

また、上田地域広域連合では、入賞作品を第1回目からデジタル化し、広域連合ホームページに掲載してありますのでぜひ一度ご覧ください。

(作品紹介の中では、敬称を略させていただきます)

ホムペ - ジアドレス <http://www.area.ueda.nagano.jp/>

審査員

花里吉見さん  
日本写真協会会員・日本写真作家協会会員・日本山岳写真協会会員  
荒井 潤さん  
長野県写真連盟副会長・日本写真協会会員



『なか好し』 角田 米作 (上田市大字中野) 撮影場所 / 上田市別所温泉



『それ行け』 中島 巖 (上田市大字前山) 撮影場所 / 別所温泉

# 入選



『新世紀へ』  
池田 正逸 (上田市大字中野)  
撮影場所 / 上田 JCR 駅前広場電飾装置



『つかの間の青空』  
山崎 英雄 (上田市大字上田)  
撮影場所 / 武石村 美ヶ原高原



『依田川トライアル』  
高尾 道雄 (上田市大屋)  
撮影場所 / 丸子町 依田川



『雨乞い火祭り』  
中川 忠雄 (上田市大屋)  
撮影場所 / 東部町 出場



『奉納舞』  
中澤 仁一郎 (上田市常盤城)  
撮影場所 / 下之郷 生島足島神社



『岳の幟』  
東城 武子 (上田市材木町)  
撮影場所 / 別所



『体験学習』  
清水 輝夫 (上田市小牧)  
撮影場所 / 上田市 水沢



『春の筒』  
竹内 三治 (上田市路入)  
撮影場所 / 上田市 富士山



# 奨励賞



『雌雄鑑別手』  
青木 良三 (上田市中央北)  
撮影場所 / 上田 蚕種協業組合製造所内



『まゆ倉とみこし』  
小宮山 仁 (上田市大字前山)  
撮影場所 / 上田市常田1丁目



『熱演』  
近田 純子 (上田市緑が丘)  
撮影場所 / 生島足島神社



『願いをこめて』  
古平 真一 (上田市築地)  
撮影場所 / 上田市国分八日堂



『一心さま』  
南波 賢郎 (上田市上郷)  
撮影場所 / 武石村



『夏の千曲川風景』  
渡辺 光一 (上田市下家)  
撮影場所 / 上田大橋より上流

4	丸	すいせん祭り.....	上旬	信州国際音楽村
	坂	びんくし湯さん館オ-ブン.....	18日	びんくし湯さん館
	丸	丸子ベルバ-ク開園式.....	13日	カネボウ跡地
	武	一心様お祭り.....	14日	一心神社
	上	上田真田まつり.....	29日	上田城櫓門前、中央市街地
	坂	自在神社太々神楽.....	下旬	上平自在神社
	丸	鹿教湯文殊堂春祭り.....	25日	鹿教湯温泉

5	和	山菜祭・そば祭.....	上旬	和田宿ステーション
	真	菅平高原マウンテンバイクフェスティバル... 中旬		菅平高原
	東	ふれあい広場・子供フェスティバル... 11日		東部中央公園
	武	ともしびの里ソフトバレ-ポ-ル大会... 12日		村内体育館
	青	アイリスの里アイリス祭.....	18日	アイリスの里
	坂	文化の館合同茶会.....	19日	文化の館
	武和丸	第47回美ヶ原高原開山祭... 19日		美ヶ原高原美しの塔前
	丸	百体観音めぐり歩こう会.....	19日	東部中央公園-湯の丸高原
	長	長門牧場祭2002.....	25日・26日	長門牧場
	丸	信州ルネッサンスふれあい2002... 31日・6月1日・2日		信州国際音楽村

6	長	マウンテンバイクチャレンジinたかやま... 2日		ブランシュたかやまスキー場
	真	菅平高原カントリー-フェスティバル... 2日		菅平高原
	丸	ラベンダ-祭り.....	中旬	信州国際音楽村
	丸	狐塚ほたる祭り.....	中旬	丸子町狐塚
	上	室賀温泉ほたる祭.....	下旬	室賀温泉ささらの湯
	真	菅平高原マレットゴルフ大会.....	下旬	菅平高原

7	坂	千曲川シネマフェスタ.....	上・中旬	坂城テクノセンター
	長	姫木平ハイキングゴ-ス-殿城山開山祭... 7日		姫木平登山口
	長	北白樺高原サマ-イベント.....	20日-8月下旬	スタンブリーなど町内各所
	依	依田窪水泳大会.....	28日	依田窪プール

8	上	上田地域邦楽コンサ-ト.....	上旬	上田城櫓門前
	坂	納涼音楽会.....	1日	文化センター
	長	道の駅マルメロの駅ながと夏祭り... 3日		道の駅マルメロの駅
	丸	信州爆水RUNin依田川.....	18日	依田川-内村川
	坂	千曲川いかだ下り大会.....	下旬	坂城町-更埴市
	上	第6回上田城新能.....	22日	上田城跡公園
	長	鷹山ファミリ-牧場祭.....	24日・25日	鷹山ファミリ-牧場

9	東	子育てフェスティバル.....	14日	中央公民館・すくすくひろば
	長	旧中山道長久保宿大山獅子舞.....	15日	長久保松尾神社
	東	第11回巨峰の王国まつり.....	21日・22日	東部中央公園

10	和	きのご祭り.....	上旬	和田宿ステーション
	丸	五台橋通り抜け紅葉茶会.....	1日-30日	鹿教湯温泉
	長	大門稲荷神社高辻相撲.....	6日	大門稲荷神社
	坂	十六夜観月堂俳句会.....	中旬	網掛十六夜観月堂
	和	第9回ふれあいの里・スポーツ祭... 13日		湯遊パークグラウンド
	上	第16回上田古戦場健康マラソン大会... 14日		上田公園内周辺コ-ス(予定)
	青	青木村義民太鼓20周年イベント・産業祭(仮称)... 20日		未定
	武	ともしびの里駅伝大会.....	27日	武石村内コース
	全	第17回上小駅伝大会.....	27日	武石村内コ-ス

11	坂	クリスマスコンサ-ト.....	上旬	坂城テクノセンター
	上	第6回うえだ城下町映画祭.....	9日・10日	上田市文化会館-上田市マルチメディア情報セタ-
	長	和紙の里新そば祭り.....	23日	長門町和紙の里
	長	小茂谷そば打ち体験道場そば打ち秋祭り... 23日		小茂谷そば打ち体験道場
	長	仏岩温泉蕎麦まつり.....	23日	仏岩温泉

12	丸	幻想(ときめき)冬紀行(氷灯籠の展示)... 下旬		鹿教湯温泉
	和	子供神楽引き.....	31日	村内各地区

夏祭り	7月	土	祇園祭.....	20日	上田市街地
		上	上田わっしょい.....	下旬	上田市中央市街地
	8月	坂	坂城どんどん.....	上旬	横町立町
		真	真田まつり.....	3日	運動公園グラウンド
		青	夏祭り.....	3日	商店街
		丸	丸子ドドンコ.....	3日	丸子商店街
		東	第26回雷電まつり.....	3日	商店街
		武	武石夏祭り.....	12日	武石村内
		和	ふるさと宿場みこしin和田... 14日		和田宿

花火大会	8月	真	真田まつり.....	3日	運動公園グラウンド
		青	花火大会.....	3日	運動公園
		丸	納涼花火大会.....	4日	町営グラウンド
		東	花火大会.....	5日	本海野千曲川河川敷
		上	上田大花火大会.....	10日	上田市千曲川河川敷
		武	花火大会.....	14日	村民グラウンド
		和	花火大会.....	14日	村内

問い合わせ先 (市外局番はすべて0268)

上田市役所...22-4100	東部町役場...62-1111	和田村役場...88-2345
丸子町役場...42-3100	真田町役場...72-2200	青木村役場...49-0111
長門町役場...68-3111	武石村役場...85-2311	坂城町役場...82-3111

凡例	上...上田市	丸...丸子町	長...長門町	東...東部町
	真...真田町	武...武石村	和...和田村	青...青木村
	坂...坂城町	全...上小全市町村	依...依田窪4町村	

ここに掲載した催し物などはほんの一部です。詳しくは、市町村広報紙をご覧ください。

斎場からのお知らせ

上田地域広域連合では、大星斎場(上田市)と依田窪斎場(丸子町)の管理運営を行っています。上田・小県8市町村の住民の方ならどなたでもそれぞれの施設の定められた料金でご利用できるようになっています。(上小地域以外の住民の方は別料金)

施設の休業の日は、大星斎場は毎週日曜日・依田窪斎場については友引の日、またそれぞれ年末年始休業があります。両施設とも1日の処理に限度がありますので、希望の日に火葬できない場合もありますのでご理解ご協力をお願いいたします。

また、運転手など斎場職員に対する心付けは固くお断りしていますのでよろしくお願ひします。

問い合わせ 大星斎場 TEL 22-0983  
依田窪斎場  
[事務局:丸子町役場]TEL42-1054  
[依田窪斎場]TEL 42-4851

ペット火葬の申し込みは、大星斎場及び依田窪斎場へ直接電話にてお申し込みください。

上小地域では、介護保険のうちの認定調査と介護認定審査を、上田地域広域連合で共同で行っています。

この度、介護サービスを利用するために申請されたお宅に訪問し、心身の状態などについて聞き取り調査を行う、介護認定調査員に欠員が生じたため募集を行います。

応募資格 次の要件を満たしている者

- ・看護師の資格を有する者
- ・普通自動車第1種免許を有する者
- ・昭和27年1月1日以降に生まれた者

採用人員 1名  
採用条件 上田地域広域連合非常勤職員に採用し、給与については上田地域広域連合の関係条例の規定に基づき支給する。

採用予定時期 平成14年5月1日  
応募書類 履歴書/看護師(看護婦・士)免許の写し  
選考方法 書類選考及び面接  
応募期間 平成14年4月15日(月)まで

詳細についてはお問い合わせください。  
上田地域広域連合 介護保険室  
TEL 0268-23-0297 FAX 0268-26-8980

介護認定調査員を募集します